

お手入れについて

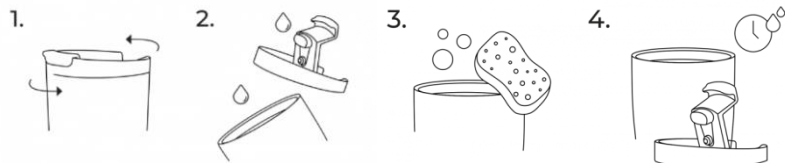
- 臭いや汚れを防ぎ、清潔にご使用いただくためにお手入れをお願いいたします。
- ご使用後は、すぐきれいに洗い、十分乾燥させてください。
- お手入れはぬるま湯または、ぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用してください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ高温多湿の場所をさけて保管してください。

本体のお手入れ

- 市販の食器洗浄用スポンジや別売りの「FLSK クリーニングピース」などできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。

ふたのお手入れ

- パッキンはそれぞれきれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。
- 洗浄後パッキンを装着する場合は、パッキンの付け間違いのないようにパッキンの上下を確認してください。



お手入れに関する注意

- ◆**本体・ふたは煮沸しないでください。**
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因にもなり危険です。
- ◆**食器用洗浄機のご使用はお控えください。**
外部の洗浄には、濡れた柔らかいスポンジを使用してください。
食器用洗浄機をご使用いただくと、外装に傷がつく可能性があります。
- ◆**本体・ふたは水中に放置しないでください。**
サビや穴あき、保温・保冷不良など故障の原因となります。
- ◆**塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。**
サビや傷、保温・保冷不良の原因になります。
- ◆**本体外側は漂白剤を使用しないでください。**
塗装などのはがれの原因になります。
- ◆**次のものは入れないでください。**
ドライアイス・炭酸飲料・牛乳・乳飲料など当商品是对応しておりません。
炭酸飲料を使用される場合は、炭酸対応の「FLSK ボトル」をご使用ください。
- ◆**お手入れのお願い**
コーヒーなど匂いの強いものをご使用された場合は、長期間放置せず、ご使用後は汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。

安全上の注意

●ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。



警告

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。ヤケドの原因となり危険です。また、小さな部品を誤飲して窒息する原因になります。



注意

- パッキンが確実に装着されていることを確認してください。飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
パッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。
- 飲み物の保温・保冷以外には使用しないでください。
- ストーブやコンロなどの火気には近づけないでください。ヤケドや製品の変形、変色の原因になります。
- 電子レンジでの加熱はしないでください。
- 冷凍庫には入れないでください。
- 飲み物の量はカップ内部に記載の「MAX」の位置までにしてください。飲み物が溢れ出す原因になります。
- 熱い飲み物を飲む場合、ゆっくり傾けながら飲み物を飲んでください。やけどの原因となり危険です。

使用上の注意

- ふた、パッキンなどの部品は必ず本商品「CUP」専用のものを使用してください。それ以外のもので部品を代用することはできません。中身が漏れる原因となり危険です。
- 飲み物を入れた状態で長く放置しないでください。成分の腐敗や変質の原因になります。
- 飲み物を入れた後、ふたをしめ、本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。
- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
- 落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またふたの破損原因になります。
- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。故障、事故の原因となり危険です。
- パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になる恐れがあります。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ヤケドの原因となり危険です。また運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。
ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。
強度や固定が不十分ですと破損したり、外れて落下の恐れがあり危険です。